

これまでの知識で決算カードを見てみよう

市民の皆さんに財政状況を伝えるため、毎月様々な角度から説明していますが、今日はこれまでの総まとめとして「決算カード」について説明します。

決算カードって？

決算カードは、各都道府県・市町村ごとの歳入・歳出決算額や、各種財政指標等の状況について、毎年度実施している地方公共団体の決算に関する調査（地方財政状況調査）の集計結果に基づき、1枚のカードに取りまとめたものです。

決算カードは総務省により毎年、日本全国の市町村のものが作成されるため、他自治体との比較や、過去の同自治体との比較など、多岐にわたって活用されています。

これらは「総務省ホームページ トップページ→政策→統計情報→地方財政状況調査関係資料→決算カード」で見ることができます。

▲ 図1. 平成29年度五所川原市決算カード

平成29年度 決算状況		平成28年度		平成27年度		平成26年度	
区 分	平成29年度	平成28年度	区 分	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
歳入	4,723,075	4,755,815	標準財政収入額	14,715,543	14,512,066	標準税収入額	5,972,718
歳出	14,715,543	14,512,066	標準財政需要額	14,715,543	14,512,066	標準税収入額	5,972,718
標準財政収入額	4,723,075	4,755,815	標準財政需要額	14,715,543	14,512,066	標準税収入額	5,972,718
標準財政需要額	14,715,543	14,512,066	標準税収入額	5,972,718	5,992,797	標準財政規模	16,980,696
標準税収入額	5,972,718	5,992,797	標準財政規模	16,980,696	16,893,939	財政力指数	0.32
標準財政規模	16,980,696	16,893,939	財政力指数	0.32	0.33	実質収支比率(%)	2.4
財政力指数	0.32	0.33	実質収支比率(%)	2.4	4.4	公債費負担比率(%)	23.2
実質収支比率(%)	2.4	4.4	公債費負担比率(%)	23.2	23.0	判断全比率化	—
公債費負担比率(%)	23.2	23.0	判断全比率化	—	—	積立金	611,047
判断全比率化	—	—	積立金	611,047	780,533	減債特定目	10,130
積立金	611,047	780,533	減債特定目	10,130	10,129	地方債現在高	1,983,488
減債特定目	10,130	10,129	地方債現在高	1,983,488	2,211,183		
地方債現在高	1,983,488	2,211,183					

今回はここに注目

基準財政収入額 (広報10月号に掲載)	普通交付税を計算するとき用いる、自治体における年間収入額の見込みのこと。
基準財政需要額 (広報10月号に掲載)	普通交付税を計算するとき用いる、自治体における年間に必要な額の見込みのこと。
財政力指数 (広報2月号に掲載)	標準的な行政活動を行うためのお金を「自ら」まかなえる割合を示したもの。
実質公債費比率 (広報8月号に掲載)	地方債返済額がどれほど自治体の財政を圧迫しているかを示す指標のこと。
財調(財政調整基金) (広報7月号に掲載)	過去の決算における剰余金などを積み立てておき、以降の自治体運営において、予期しない収入の減少や支出の増加等に備え、計画的な財政運営に活用するための基金のこと。
地方債現在高 (広報8月号に掲載)	自治体が必要な資金を得るために借り入れるお金(地方債)のその年度末残高のこと。

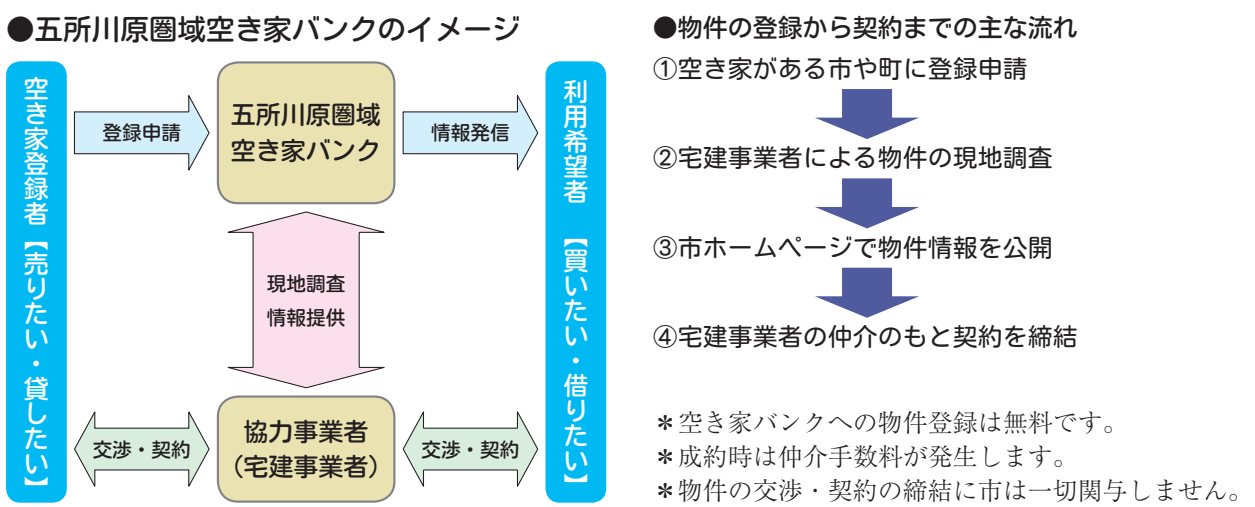
これらを踏まえると、平成29年度の1年間で五所川原市は、
基準財政収入額：減少、基準財政需要額：増加、財政調整基金：減少、地方債残高：増加しており、
 ①支出見込み額と収入見込み額の差が広がったことで、普通交付税が増額となり、前年度よりも自前資金の割合が低くなったこと
 ②自前資金の増額幅に対し、支出の増額幅の方が大きくなったため、資金に余裕が無くなり、財政調整基金を取り崩して財政運営をしたこと
 ③29年度に実施した大型建設事業の資金調達により、その年度の地方債借入額が返済額を上回ったこと
 などが読み取れます。

まとめ

このように決算カードはその自治体の財政状況が一目でわかるものであり、様々な情報が手軽に得られるツールです。
 興味のある方は、今回紹介した以外の部分や、他自治体の決算カードについても一度ご覧になり、当市がどのような財政状況にあるのかを考えてみてください。
 決算カードに出てくる単語や、五所川原市の数値など、不明な点がある場合は財政課までお気軽にご連絡ください。

空き家を所有する皆さんへ 空き家バンクに物件を登録しませんか
 企画課 内線2234

「五所川原圏域空き家バンク」は、五所川原市・つがる市・鯉ヶ沢町・深浦町・鶴田町・中泊町にある空き家の売買・借借を宅建事業者と連携して仲介する仕組みです。
 空き家はそのままにしておくと、どんどん古くなっていきます。場合によっては危険な状態になるおそれもあります。そうなる前に空き家バンクに登録し、お持ちの資産を有効に活用してみませんか。



上の図の注目部分を拡大したものが、図2です。この部分は、その自治体の主な財政指標をまとめた部分です。並んでいる単語を見ると、どこかで見たことがあるような・・・そうです。これまで皆さんに毎月1回説明してきた用語がいくつもありませんね。改めて主要な指標について、もう一度おさらいしましょう。

区 分	平成29年度(千円)	平成28年度(千円)
基準財政収入額	4,723,075	4,755,815
基準財政需要額	14,715,543	14,512,066
標準税収入額	5,972,718	5,992,797
標準財政規模	16,980,696	16,893,939
財政力指数	0.32	0.33
実質収支比率(%)	2.4	4.4
公債費負担比率(%)	23.2	23.0
判断全比率化	—	—
積立金	611,047	780,533
減債特定目	10,130	10,129
地方債現在高	1,983,488	2,211,183

▲ 図2. 上図を拡大したもの